

バキュームホースの洗浄 (アダプター使用時)

患者毎のバキューム洗浄時に
洗浄剤添加機能が付いていない場合

- A バキュームホースを午前の診療終了後と1日の診療終了後に洗浄アダプタを使用して洗浄してください。

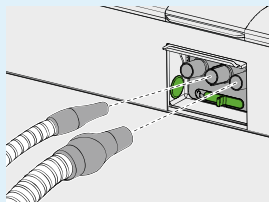
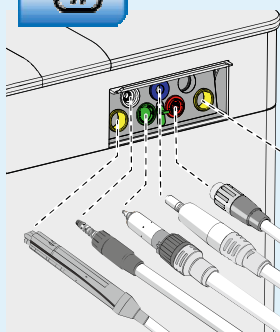
裏面： **A** の項目参照

※洗浄剤添加機能が付いている場合

週ごとに行うメンテナンス「排水回路の清掃」を行います。

B 終業時の水回路内水の入替え (オートページ)

始業時と同様に診療終了後オートページを行います。



始業時前の水回路内水の入替え (オートページ)

- C 診療開始前にインストゥルメントカップリングを対応するビルトインアダプタに差し込みオートページを行います。

裏面： **C** の項目参照

ドクター側ビルトインアダプタ

白：タービンカップリング

緑：BLモーター

青：BLISO S/Cモーター

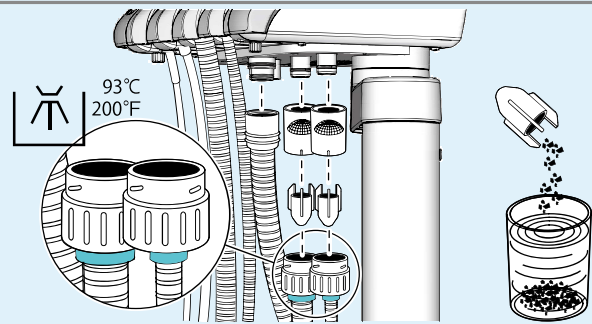
赤：スケーラー

黄：スプレービット

アシスタント側ビルトインアダプタ

バキュームホース

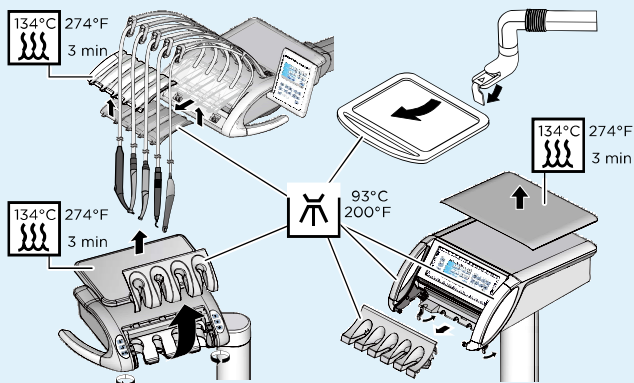
排唾管ホース



バキュームホース内フィルター清掃

- バキュームホースのアシスタントユニットコネクタ内フィルターを清掃します。

注：熱消毒可能なバキュームホースには青緑色の印があります。



トレー用シリコンマットの滅菌、ユニットハンドルとインストゥルメントホルダーの熱消毒

シリコンマットの滅菌

ユニットトレー用シリコンマットはオートクレーブ滅菌が可能です。

ユニットハンドルとインストゥルメントハンガーの熱消毒

取り外し可能なユニットハンドルとインストゥルメントハンガーは93℃で熱水消毒が可能です。

裏面：消毒・滅菌できるパーツの項目参照

A

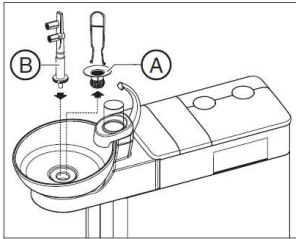
バキュームホースの洗浄 (アダプター使用時)

頻度：午前診療後1回、午後診療後1回

バキュームシステムは、細菌を含んだ分泌物、唾液、血液を吸引します。そのため、衛生上の理由から定期的な洗浄が必須です。
※洗浄剤添加機能が付いている場合は不要です。

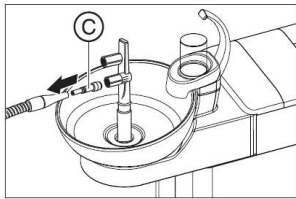


●50倍に希釈しバキュームより吸引し使用
デュールデンタルオロトプラス
2.5L
標準価格 ¥12,000 (税別)



<洗浄の準備>

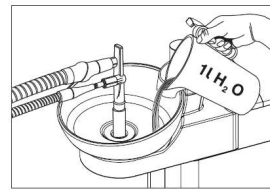
1. トラップ(A)を取り外します。
2. スピットンボールを清掃します。
3. 洗浄用アダプタ(B)をしっかりと挿入します。
4. バキュームチップをバキュームホースから取り外します。
5. アダプタ(C)を排唾管に取り付けます。



<洗浄の手順>

1. スピットンボールに1リットルの洗浄液を入れます。
2. バキュームホースと排唾ホースを洗浄用アダプターに取り付けます。
3. 洗浄液の3分の2がバキュームホース内に吸引され、3分の1がスピットンボールの排水管に流れ込みます。
5. 洗浄液をしばらく放置して反応させます。

放置(暴露)時間の目安：
オロトプラス：60分以上



<洗浄剤のすすぎ>

1. 洗浄処理後、スピットンボールに1リットル以上の水を入れます。
2. 水を吸引させます。
3. 吸引処理終了後、ホースを取り外します。

C

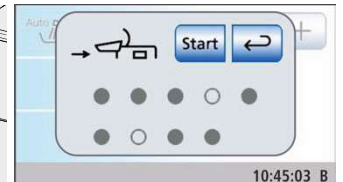
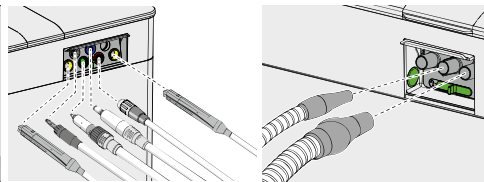
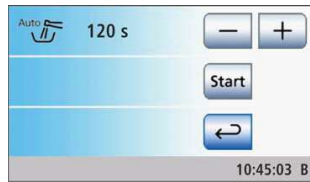
始業時前の水回路内水の入替え

ユニット内の全水回路の滞留水を強制的に入れ替えるシステム

Tips

翌日診療前にオートパージを実施するには？

インスツルメントホースをウォーターユニットに接続した状態でトリートメントセンターの電源を切ります。翌日、トリートメントセンターの電源を入れるとすぐに、ウォーターユニットに残っているすべてのインスツルメントホースとコップ給水器に対し、オートパージが自動的に実行され、バキュームホースが洗浄されます。



インスツルメントの注水量を最大にします。(患者ごとのお手入れC参照)

サブメニュー画面を開き、オートパージ機能キーに触れます。

−キーと+キーを使用して、パージ時間を設定します。パージ時間は、60~180秒の範囲で設定できます。Startボタンを押します。

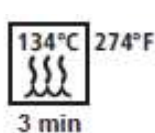
RKIガイドラインでは診療後120秒以上、診療前は180秒を推奨

インスツルメントホースとバキュームホースをウォーターユニットに差し込みます。

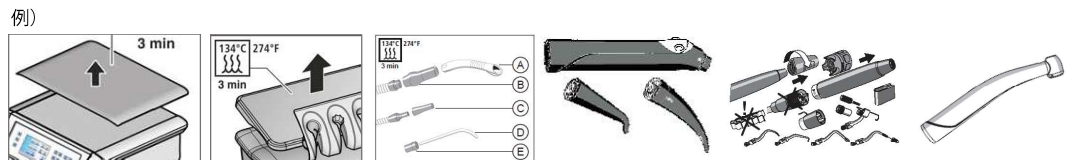
操作パネルのStartを押し、終了したらホース類を元のハンガーに戻します。

Tips

消毒・滅菌できるパーツ



134°C以下の温度でオートクレーブにて滅菌可能なものは全てこのマークが刻印されています。



93°C以下の温度で消毒可能なものは全てこのマークが刻印されています。

